条幅規定参考手本　―3月末日締切―

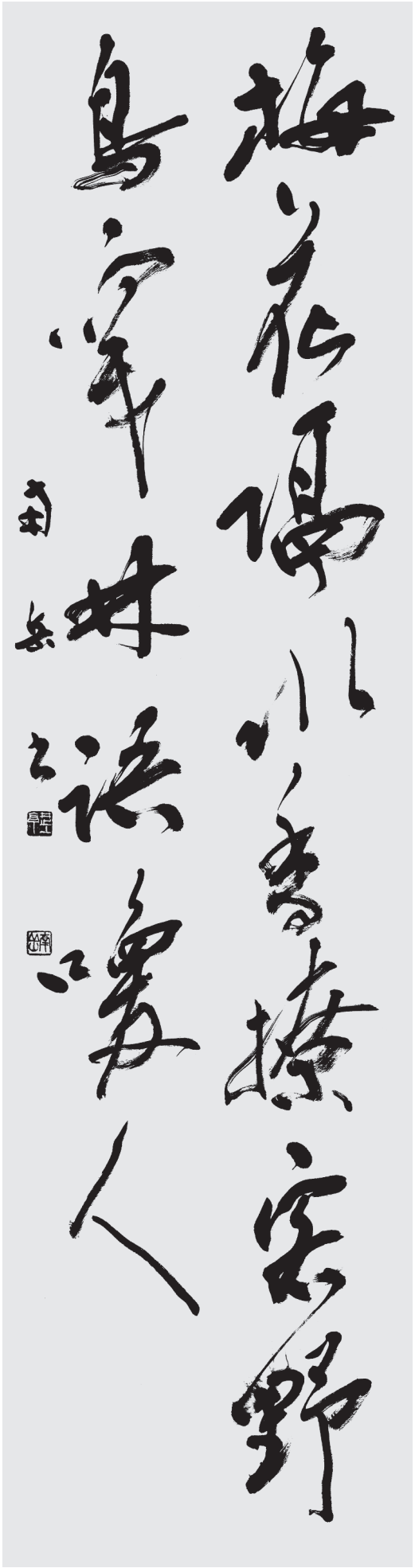
〈楷　書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）



清原大龍先生書

〈行　書〉



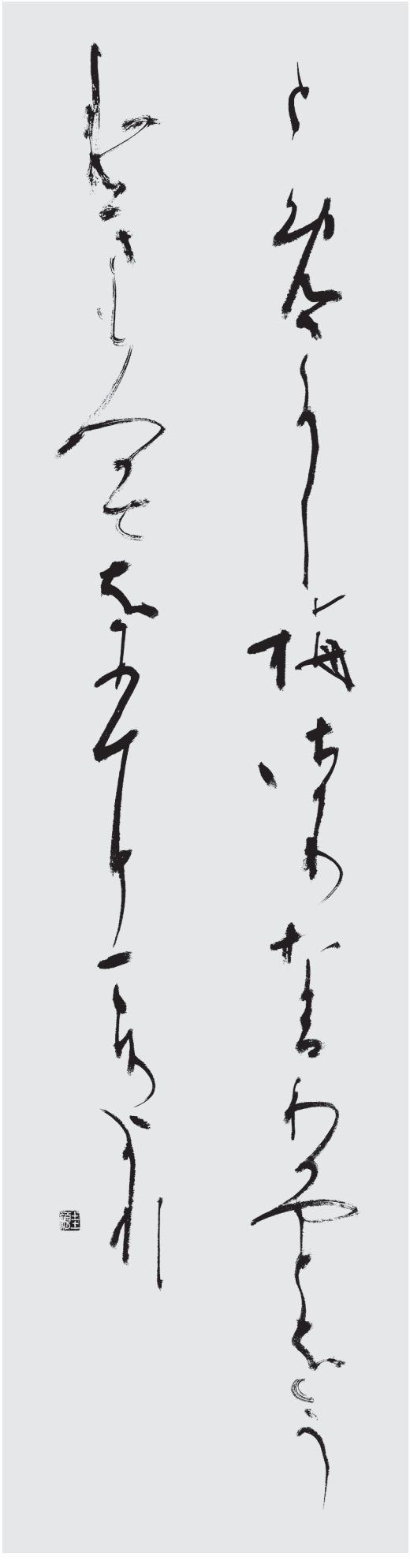
井之上南岳先生書

□　梅花水を隔(へだ)て香客を撩(かす)め。野鳥林を穿(うが)ち語人を喚(よ)ぶ。（陸放翁）

川の向うから梅の花の清き香りが此方に吹き送り何とも言えないよい香りである。野辺に鳴く鳥の声は林の中から人を呼ぶように聞える。

次号予告「雨過春城花氣細　風清亭館樂聲幽」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

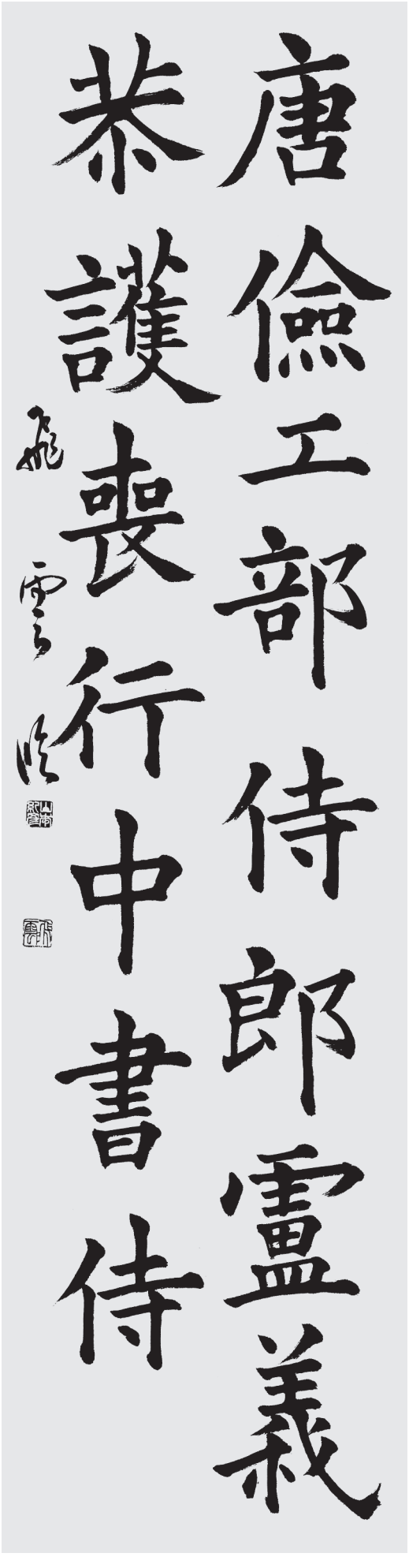


舟尾圭碩先生書

□と免(め)こ可(か)し　梅佐(さか)可りなる　わ可(か)やとを　う登(と)きも人盤(は)　をり耳(に)こそよれ　〈新古今和歌集 五一　西行法師〉

とめこかし　梅さかりなる　わか宿を　疎きも人は　をりにこそよれ

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）



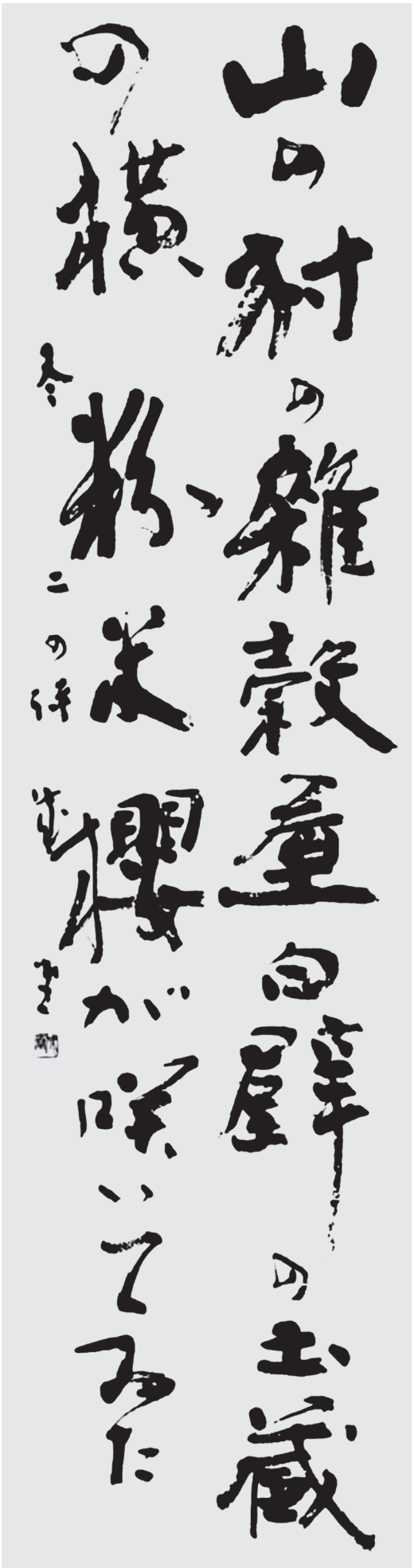
山本飛雲先生臨

▽温彦博碑

唐儉工部侍郎盧義恭護喪行中書侍

条幅随意参考手本　―3月末日締切―

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成堂先生書

□氷川の村（抄）田中冬二の詩　山の村の雑穀屋　白壁の土蔵の横　粉米桜（こごめざくら）が咲いてゐた

条幅随意（半折½横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成美先生書

□開花（かいか）
・草木の花が開くこと
・物事の成果がみのること

九州は、冬らしい冬もなくもう春。
桜の開花を聞く季節となりました。
七月には東京オリンピックも開催され、
日本の活躍が期待されます。
明るいニュースを心待ちにしながら
私たちも書作に頑張りましょう。

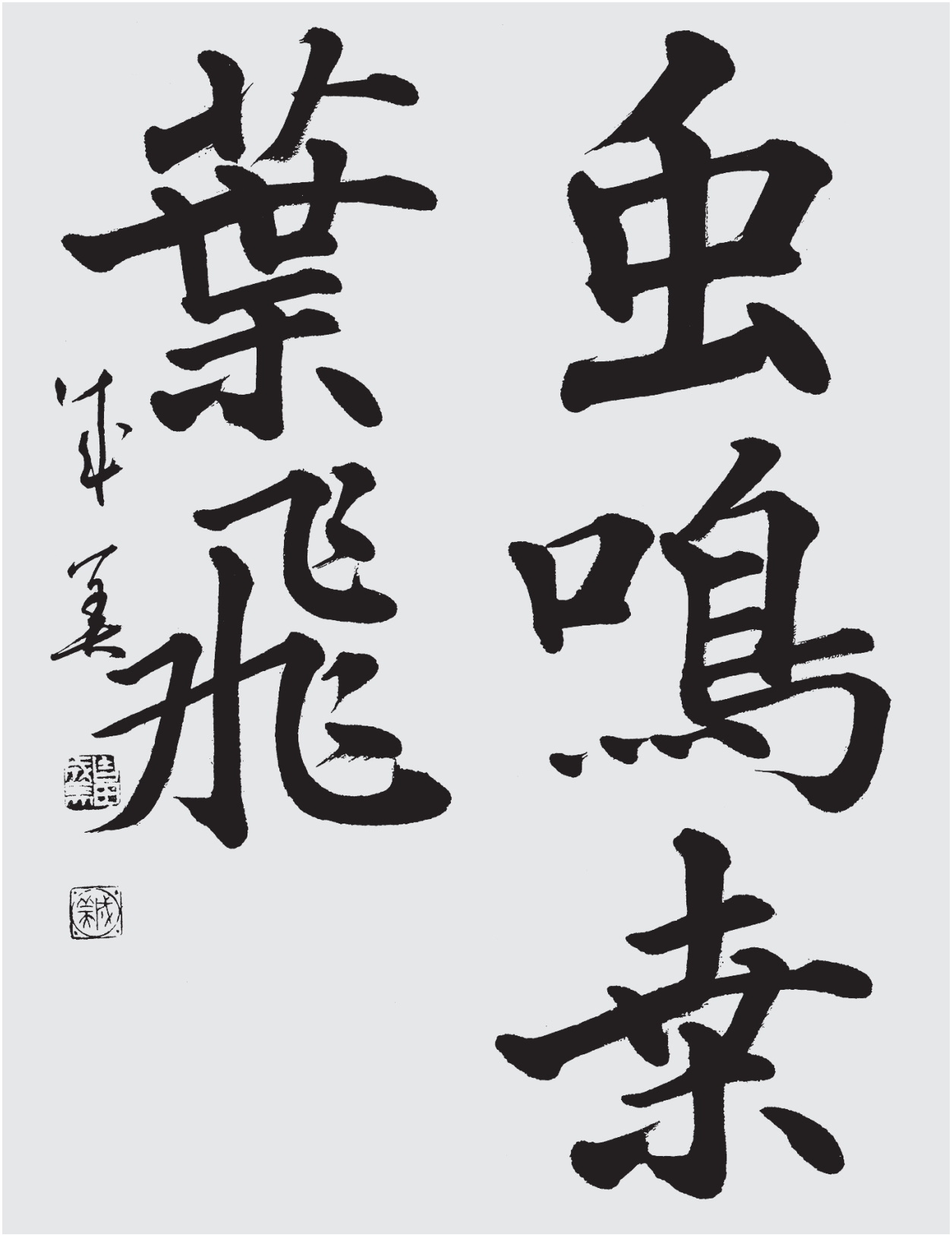
≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横⅛に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

半紙規定参考手本　　―3月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□ 虫鳴いて桑葉（そうよう）飛ぶ。（李嘉祐）
桑の葉が風に舞うころになると、虫の音もしきりとなる。

吉　田　成　美　先　生　書

次号予告「風光動四隣」

半紙規定参考手本　　―3月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□ 虫鳴いて桑葉（そうよう）飛ぶ。（李嘉祐）
桑の葉が風に舞うころになると、虫の音もしきりとなる。

吉　田　成　美　先　生　書

次号予告「風光動四隣」

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります .

〈詩文書〉「春の朝」　雀が鳴くな　いい日和だな　金子みすゞの詩



秋　永　春　霞　先　生　書

半紙随意（臨書）参考手本　　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽温彦博碑



「東園」

〈臨書〉政法の特徴を念頭に置き、整斉な風趣に心掛けて書きましょう

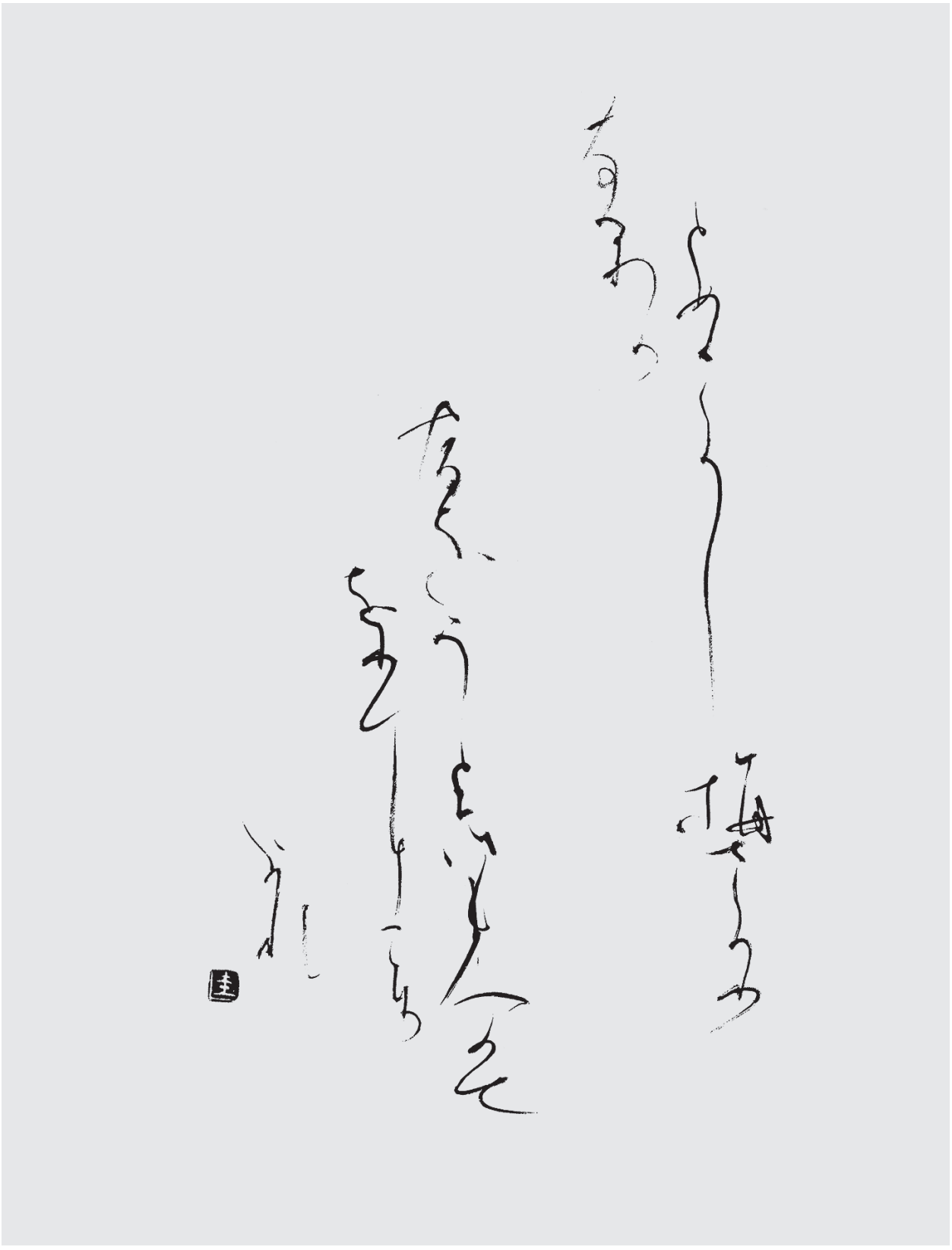
吉田成美先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

〈仮　名〉

とめこ可し　梅さ可りなる　わ可宿を　うときも人盤は　をり耳にこそよれ



とめこかし　梅さかりなる　わか宿を　疎きも人は　をりにこそよれ

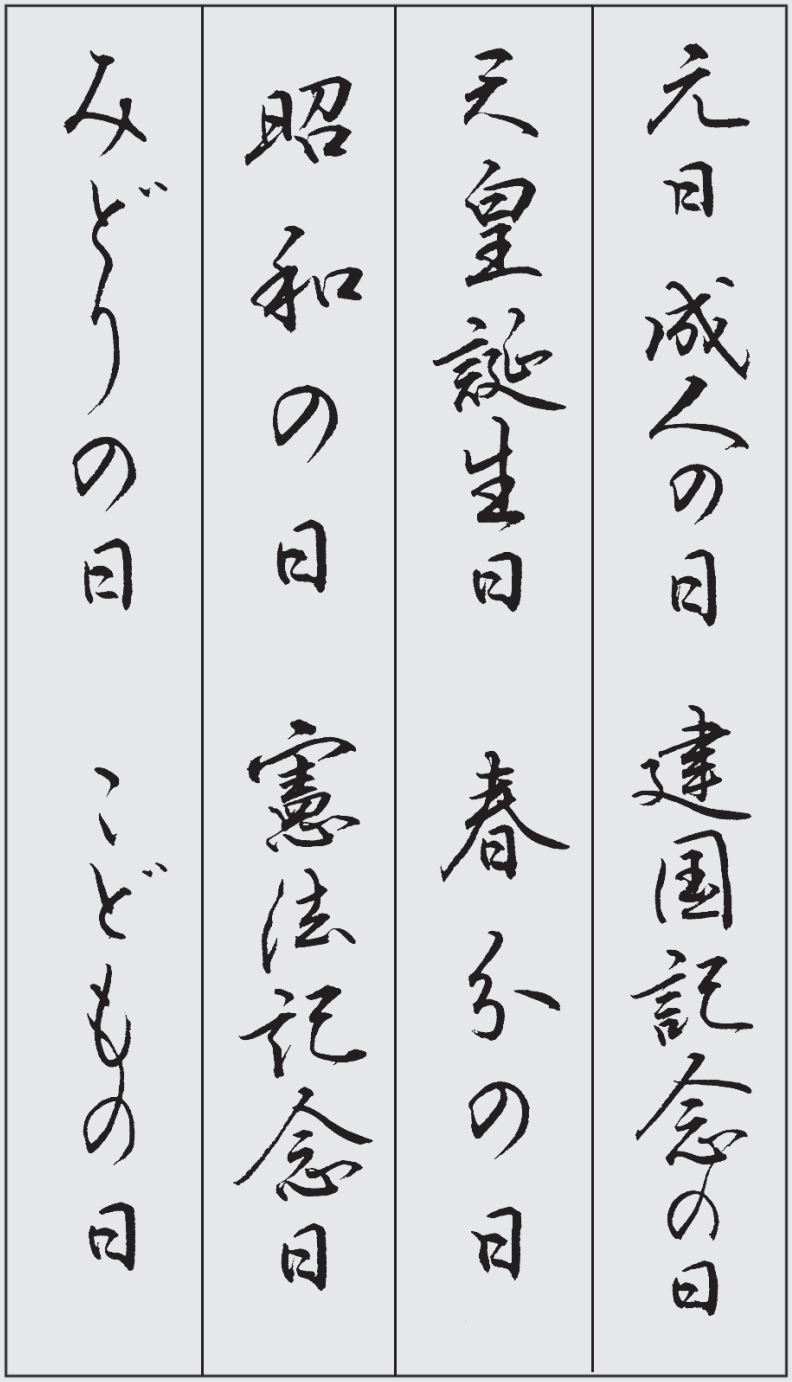
舟　尾　圭　碩　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

〈実用書〉元日　成人の日　建国記念の日　天皇誕生日　春分の日
昭和の日　憲法記念日　みどりの日　こどもの日



兵　頭　白　慧　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜A＞　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

〈暮らしに役立つ書〉

書譜

以前教えていただいた、隣町の観光農園のいちご狩りが、実りの最盛期のようです。今年から更に品種も増え、よりたくさんの味が楽しめるようですよ。

天候の不安もありましたが、大型連休の頃までは楽しめるそうです。近くに話題の道の駅もありますし、桜の知らせも届く頃でしょうか。見て、味わって、春を満喫しましょう。近いご連絡しますね。

祐美

罫のある便箋に書いてみよう。〈26cm×18cm〉紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書

一般硬筆部参考手本＜B＞　―3月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

中国の科挙は官吏を登用する試験で、難関で鳴る一方、栄達への道とされた。しかし、カンニングや替え玉などあの手この手が横行し、清の時代には、発覚すれば数年の流刑になったという。

段　級
氏　名

吉　田　成　美　先　生　書

今月のかきかたドリル（形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう！）

中　学	小学６年	小学５年	小学４年	小学３年	小学２年	小学１年	ようねん
擦	終	慣	冷	夜	間	耳	を
擦	終	慣	冷	夜	間	耳	を
擦	終	慣	冷	夜	間	耳	を

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

学生部条幅¼　参考手本　　―3月末日締切―



ようねん・小学1年　小学2年　小学3年　小学4年

小学5年　小学6年　中学1年　中学2・3年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

秋永春霞先生書

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

学生毛筆部規定参考手本　―3月末日締切―

ようねん・小学一年



次号予告「こ　け」

□ ふでは、軸の部分だけをまわさず、腕全体をつかって元気よく書きましょう。

小学二年



次号予告「いのち」

□ 書き始めは、筆の鋒先をきれいに整え、正しい姿勢で伸びやかに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年



次号予告「上」

□ 平仮名は懐を広く、漢字は点画の筆使い（〝ハライ〟・〝ソリ〟・〝ハネ〟）に気をつけて書こう。

小学四年



次号予告「右」

□ 字形はやゝ縦長にし、行の中心や文字の空間にも気をつけて、明るく伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

学生毛筆部規定参考手本　―3月末日締切―

小学五年



□「進」は〝隹〟の筆順に気をつけ、「勇・気」はたて長に字形をとりましょう。

次号予告「さくら草」

小学六年



□ 横画の長さの違いに注意して、「夕」の左払いを伸びやかに書きましょう。

次号予告「　街　」

秋永春霞先生書

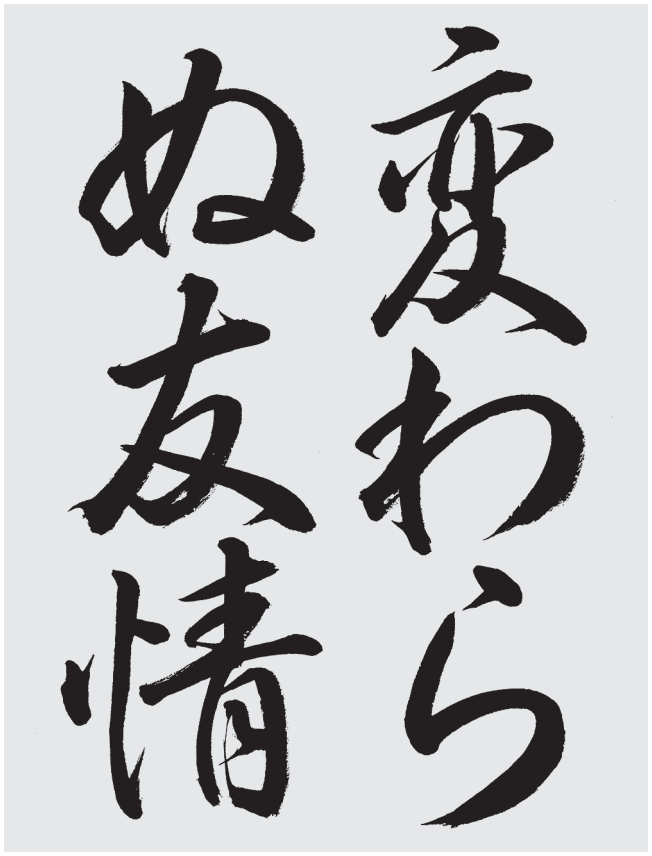
中学一年



□ 文字の中心を意識しながら、「不・言」は横画、「実・行」は部首に注意して書こう。

次号予告「探　究」

中学二・三年



□ 漢字と平仮名の大きさ、気脈に注意して、線の強弱を意識しながら伸びやかに書こう。

次号予告「開　花」（行書）

吉田成美先生書

ようねん　（※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。）

ひ	な	ま	つ	り		も	も		
の	は	な	を		か	ざ	る		

段級

氏名

ひ［◎とめる］　たたな［◎とめる］　ーヵを［◎とめる］

小学一年

ラ	イ	オ	ン	の		赤	ち		
や	ん	は	、	生	ま	れ	た		
と	き	は	、	目	や	耳	は	、	
と	じ	た	ま	ま	で	す	。		

段級

氏名

一十土圭圭［◎はらう］　赤（あか）　ノ𠂉牛牛生［◎上の二本のよこせんよりながい］（う）　一丆丆丆耳耳［◎つきでる］（みみ）

坂元紫香先生書

学生硬筆部規定参考手本

―3月末日締切―

小学二年

あっという間の一年間。書いてのこそう、楽しかった二年生のこと。

段級

氏名

小学三年

おまえは、一人で、夜道を医者さまよびに行ける勇気のある子どもだ。自分を弱虫だと思うな。

段級

氏名

坂元紫香先生書

まっすぐおろし上と下のよこせんにつける

ながくつきでる

ななめにはらう

立ててよこせんにつける

一かくで書く

二ではない

小学四年

空は暗くなり、風も冷たく
なりました。雪は、女の子の
赤いセーターの上に、白い
もようを付けました。

段級

氏名

坂元紫香先生書

日 旷 暗 暗 暗　立ててよこかくにつける
冫 冫 冷 冷 冷　◎ななめにうつ　◎とめる
一 二 雪 雪 雪　（つめ）

小学五年

大工さんはお金をはらって、わ
らぐつのひもを慣れた手つき
で結び合わせ、道具箱といっ
しょにひょいとかつぐと、さっ
さと行ってしまいました。

段級

氏名

小畠秋聲先生書

忄 忄 忄 慣 慣　◎上の横画より短い
く 糸 糸 結 結
⺮ ⺮ ⺮ 箱 箱

学生硬筆部規定参考手本

―3月末日締切―

小学六年

学校や家の周りには、自然がたくさんありました。放課後、いねかりの終わった田んぼや空き地で、木の板をホームベースにして、暗くなるまで野球をやっていました。

段級

氏名

中学

日々の暮らしの中で、無数の人々と擦れ違いながら、私たちは出会うことがない。その根源的な悲しみは、言い換えれば、人と人とが出会うかぎりない不思議さに通じている。

段級

氏名

クタ夕外然然［点の方向に注意］

ご言訂諷諌課［なめにうつ］

干干打［はねる］球球球

打扩拶挨擦擦擦［はらう］

一十十吉音韋違［左上にはねる］

ヨ非非悲悲